

南松の滝 (室生下田口)



▲上段の熊ヶ滝



大正6（1917）年に発行された『宇陀郡史料』には、「田口の瀑」が紹介されており、「並松の滝。白糸の滝。鼓の滝。琴引滝。紅葉の滝。布引の滝。不動の滝。休み場滝等の諸瀑あり。」と書かれています。また、「田口の七不思議」のひとつに「宇野川のガワロ石」があったとも書かれています。ガワロとは、河童のことです。宇野川には河童が棲んでいたのでしょうか。

この宇野川は、室生川の支流のひとつで、いくつかの滝があります。『宇陀郡史料』にある「並松の滝」をご紹介します。今は「南松の滝」とよばれているこの滝は、宇野川を約2.5km遡った渓谷にあります。この滝は「段瀑」となっており、上段が「熊ヶ滝」、下段が「南松の滝」ともよばれています。「熊ヶ滝」は約10m、「南松の滝」は約5mの高さでしょうか。このあたりは、岸壁と樹木に彩られる風景と相まって美しい渓谷美ともなっています。今回はご紹介できませんが、さらにこの上流には、「布引の滝」があります。

今日の
Pick Up

市役所玄関で ダリアがお出迎え



内牧地域まちづくり協議会の皆さんから、宇陀市特産のダリアの鉢植えを寄贈いただきました。

ダリアはたくさんの種類があり、色や大きさも様々です。ひとつの花の咲く期間は短いのですが、新芽が次々に出て毎週のように表情を変えます。

大きく咲いたダリアの花はインスタ映えもバッチリ！訪れた皆さんは「こんなダリアは初めて！」「スマホの待ち受けにピッタリ！」と写真を撮る方も多くおられます。

内牧地域まち協の生活環境部会の皆さんが花の咲く時期を調整しながら育てた鉢を順次入れ替えてくださり、色とりどりのきれいな花を夏過ぎまで楽しむことができます。

市役所へ来られたときはダリアの花をぜひご覧ください。

